

## 第 5 回 玉名市景観計画策定委員会

～将来像と景観形成方針～

目次

1. 玉名市の景観の将来像	-----	1
2. 景観方針	-----	2
3. 景観計画区域と景観形成方針(案)	-----	3

# 1. 玉名市の景観の将来像

## ～玉名市の景観の将来像～

### パターン1：菊池川が育んだ味わい深い景観を市民が語るまち

### パターン2：味わい深い玉名の景観を市民が育て語るまち

本市は、菊池川の恵みを受けた商業や農業、水運、玉名温泉、干拓、山の資源や丘陵を活かしたみかん畑や石垣、古墳文化など、自然の恵みを受けて発展してきました。こうした景観は、訪れる度に良さを実感していく『味わい深い』魅力があり、落ち着いた景観がつけられています。これが本市の特徴・らしさとなっており、今後大切にしていきたいことが重要です。

こうした景観は、先人たちの活躍によりつくり守られ、“玉名市の景観”として目に映っています。私たちが、これを本市の宝として受け継ぎ、市民にとっても、来訪者にとっても心地良い景観として未来に伝えることは使命であり責任です。

この受け継いだ宝“玉名市の景観”の価値を高め、未来へつなぐためには、みんなが景観について興味や関心、問題意識を持って景観を『育て』、わたしたちが自信を持って、玉名の景観を『語る』ことがとても大切です。このような考え方により、『味わい深い景観を市民が語るまち』を景観の将来像として掲げます。

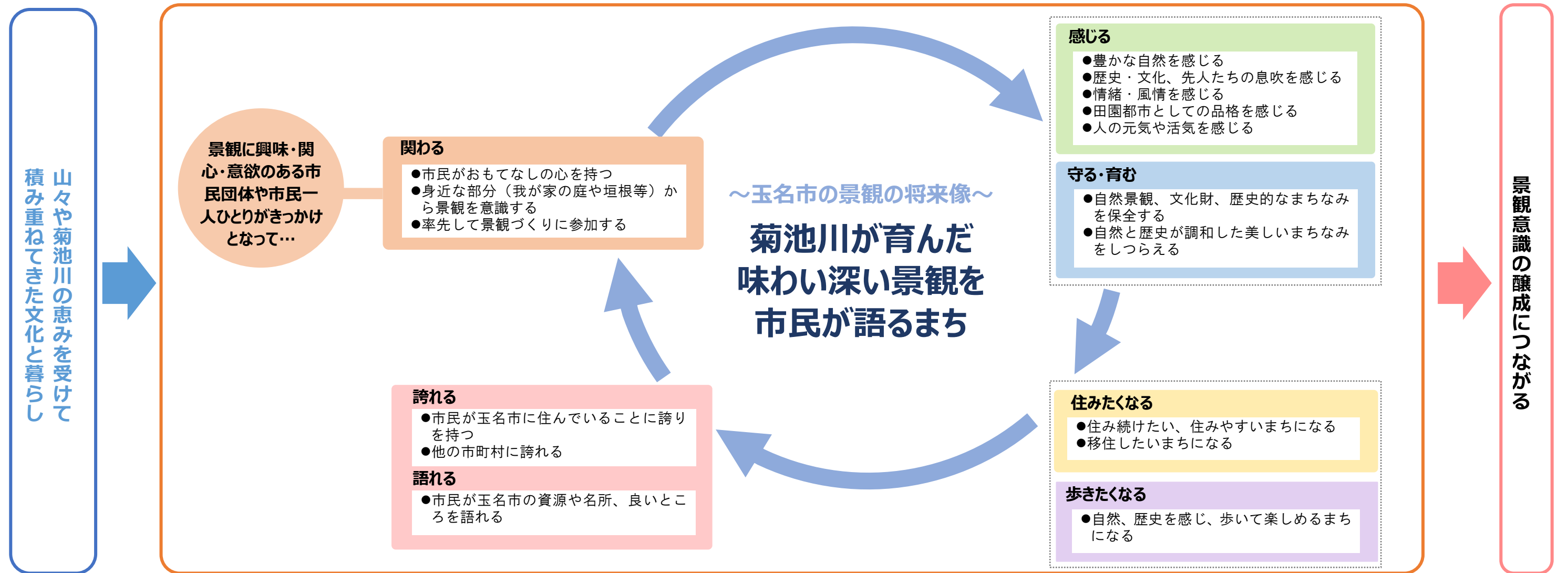
ビジョンの実現にあたっては、まず、景観に興味・関心・意欲のある市民や団体が景観まちづくりを率先して行い、市民を巻き込むきっかけをつくります。

市民一人ひとりが景観について関わりを持つことで、各々が玉名の景観を感じて意識が深まり、守り育てための行動・活動につながります。

こうした活動が行われることで良い景観が生まれ、住みたくなる、歩きたくなる魅力的なまちがつけられます。

魅力が高まることで、市民が誇れるまちとなり、自信をもって玉名を語れる市民が増えていきます。これにより、景観に興味・関心・意欲のある市民や将来を担う子どもたちが増えることとなります。

これら一連の取り組みが循環し積み重ねることで、『味わい深い景観を市民が語るまち』が実現し、景観意識の醸成につながります。



## 2. 景観方針

### 玉名市の景観ビジョン

パターン1：菊池川が育んだ味わい深い景観を市民が語るまち

パターン2：味わい深い玉名の景観を市民が育て語るまち

### 玉名市の景観方針

#### 方針1 玉名の情緒ある景観をみせる場づくり

- 効果的な景観づくりのためには、今ある景観資源を磨き、手入れをして、よりよく“魅せる”工夫が重要となります。玉名らしいすばらしい景観を魅せるために、景観資源が持つ特長や独自性、歴史性、文化性を捉えた“情緒ある”演出を行います。
- 効果的に景観を魅せるためには、“ある視点場に立って、見たい対象が見えやすい状況にある”ことが大切であるため、本市の良い景観を望むことができる視点場や眺望点の掘り起こしと設定を行います。さらに、建築物や工作物、屋外広告物、遺跡等、景観資源そのものを磨き上げ、周辺の雰囲気づくりなどと合わせ、しつらえを整えます。この考え方のもと、地域住民が「心地良い」と思い、来訪者に「行きたい」と感じてもらえる戦略的な景観づくりを図ります。

#### 方針2 玉名の景観を守り・育て・活かす担い手づくり

- 現在の景観は、先人たちの努力により長い年月を経て積み重なっています。これは、本市の宝・誇りであり、他にはない「玉名らしさ」を表現する資源です。この資源を守り、育て、活かしながら、景観形成を進めていくことが大切です。
- こうした景観資源の継承や良好な景観形成には、市民、事業者をはじめ、景観まちづくりに取り組まれている個人・団体が担い手となり、その活動を行政がサポートしながら進めていくことが効果的です。脈々と受け継がれてきたこれらの景観を後世に残し、良好な景観形成を進めていくため、特に、景観まちづくりに携わっている人材と連携を強化・支援しながら、担い手の裾野を広げ、育てる取り組みを進めます。

#### 方針3 玉名の誇りを受け継ぐ景観の意識づくり

- 景観は、人と自然の営みの表れです。特に、人の営みは変化が早く、人々の景観への興味・関心の有無、考え方や思想は多様であることから、良くも悪くも景観に影響を与えやすい傾向があります。このことから、良好な景観形成には、市民一人ひとりが景観に興味・関心を持ち、「玉名市の景観を良くしよう」とする意識を持つことが重要です。
- そのため、市民には、景観づくりの意義や重要性を伝えるだけでなく、玉名の景観資源やその資源の歴史・文化についても発信・教育することで、市民が玉名の景観の価値や良いところを認識し、“誇り”を醸成する取り組みを進めます。
- さらに、効果的な景観形成に向け、景観まちづくりの熟度に合わせて少しずつ景観を育てていく、身の丈にあった景観形成基準（きまり）を定めます。

#### 【具体例】：景観の価値付け

- ✓ 景観コンテスト、玉名市景観百選
- ✓ 景観資源の文化財指定・登録

#### 【具体例】：視点場・眺望点の設定の例

- ✓ 展望公園、小岱山などの俯瞰する眺望点
- ✓ 木葉山、金峰山系の山並みを見渡せる玉名平野の視点場
- ✓ 高瀬裏川、高瀬の商店街、山田日吉神社の参道・境内など

#### 【具体例】：景観資源の整備の例

- ✓ 街並みの雰囲気づくり、樹木の剪定、景観阻害要因の排除
- ✓ 景観周遊ルートの整備、景観資源をつなぐストーリーづくり

#### 【具体例】：景観学習

- ✓ 景観まちづくり担い手づくり講座、景観学習会など

#### 【具体例】：支援

- ✓ 景観まちづくり団体への支援など
- ✓ 景観まちづくり活動の実践など

#### 【具体例】：景観教育・継承

- ✓ 小中学校での景観教育、景観学習会
- ✓ 広報、ホームページ等による景観資源の発信
- ✓ 世代間交流による景観資源の歴史・文化の継承

### 玉名市の景観課題

#### 課題1 見せたい、見てもらいたい景観が効果的に見せられていない

玉名市には、小岱山や菊池川、干拓地、みかん畑、鍋松原海岸、高瀬のまちなみ等、多様で良質な景観資源を有しています。個々の資源は魅力があるものの、景観資源付近のイメージにそぐわない広告がつけられたり、街並みの連続性を欠いたりなど、景観資源を含めた空間の見せ方（演出）が十分でなく、景観としての魅力が高いとは言い難い状況があります。また、良い資源が多くあるからこそ、見せたい景観を絞り込めず、まちの顔が見えないという状況もあります。

そのため、今後の景観づくりにあたっては、本市が「見せたい、見てもらいたい景観」に焦点を絞り、玉名らしさを感じる景観を見せる戦略や仕掛けが必要です。

#### 課題2 先人たちが遺してきた景観資源を受け継ぎ、活用していくことが困難になりつつある

現在の景観は、突然できあがったものではなく、先人たちの努力により長い年月を経て現在の景観がつけられています。こうした景観は、市民・事業者をはじめ、景観に関わるまちづくり団体や農家等の活躍が不可欠となっています。しかし、人口減少や少子高齢化の影響を受け、活動を休止したまちづくり団体や農家数の減少による耕作放棄地が増えるなど、景観資源の維持だけでなく、まちづくり活動や農業等の生業が困難になりつつあります。

さらに、魅力的な歴史的資源や文化遺産が各地に残されているものの、十分に活かされておらず、なじみの景観が少なくなっているなど、景観資源を失いかねない問題も抱えています。

これらのことから、先人たちがつくりあげてきた景観を守り、活用していく担い手の確保が必要です。

#### 課題3 景観に対する興味・関心・問題意識が十分でない

景観は、市民の日常生活や経済活動の積み重ねにより形づくられています。その中で、自然や街並みから目立つ高彩度の色彩の建築物や工作物、乱立する屋外広告物などにより、良好な景観を損ねていることがあり、ひとりひとりの行為が景観づくりにつながっているという当事者意識や問題意識が十分でない状況があります。

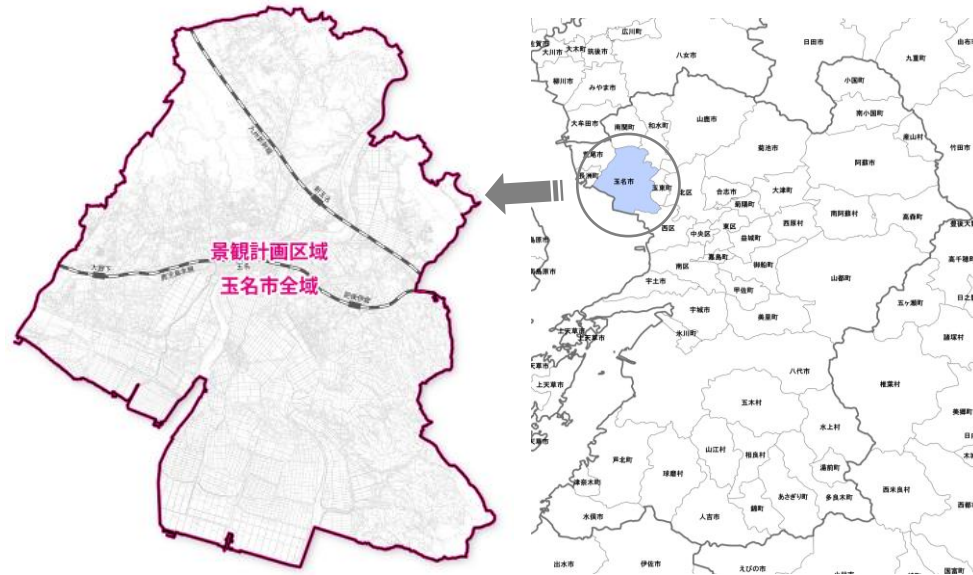
良好な景観形成の実現には、「良い景観をつくろう」とする景観に対する関心や「景観は市民の財産である」という意識を高めることが極めて重要です。意識を高めるためには、本市の景観資源やその良さを広く浸透させることが不可欠となります。さらに、景観に関する意義や大切さ、知識等を普及させ、意識の高揚を図ることが必要です。

### 3. 景観計画区域と景観形成方針(案)

#### 1. 景観計画区域

- ❖ 山林、河川、田園、市街地など、景観は連続性を持っており、それぞれが一体となって、人々の目に映っています。
- ❖ また、景観形成や景観まちづくりは、本市全体で推進することで、景観の魅力向上(ベースアップ)につながります。
- ❖ そのため、景観計画区域は、「本市全域」とします。

[景観計画区域]



#### 2. 景観形成方針(案)

- ❖ 市全体の“景観ビジョン”と“景観方針”を踏まえ、『景観形成方針(案)』を設定します。
- ❖ 景観形成方針を設定するにあたって、市の成り立ちや景観の構成状況を踏まえると「山の恵みとともに育まれた暮らし」の景観と「菊池川とともに発展した暮らし」の景観に大別できます。
- ❖ それぞれを実情に合わせて“山の恵みとともに育まれた暮らし”では、「山林・集落景観ゾーン」「みかん畑・集落ゾーン」に分け、また、“菊池川とともに発展した暮らし”では、「菊池川流域景観ゾーン」「市街地景観ゾーン」「田園景観ゾーン」「干拓景観ゾーン」に分けて景観形成方針を整理しています。
- ❖ それらの景観づくりに合わせて、各景観ゾーンの総合的な眺めとして、玉名らしい眺望を魅せるための「景観をつなぎ魅せる場所」である、眺望ゾーンと眺望点に関する方針を定めています。
- ❖ また、本市の風土や信仰から生まれた文化的行事やイベント(非日常の景観)も、方針として整理しています。

##### 山の恵みとともに育まれた暮らし

- ✓ 小岱山系の岩が使われた古墳や横穴群などの文化が発生しました。その麓では豊かな水田が広がり、集落がつくれ、人々の暮らしが営まれてきました。
- ✓ 一方、熊ノ岳、三ノ岳の丘陵では、石垣とみかん畑が広く分布し、みかん栽培を生業としている農村集落で生活が営まれてきました。夏目漱石もみかん畑の風景を愛しており、草枕でも描写されています。
- ✓ こうした山の恵みを受けて、文化や産業が生まれ、魅力的な景観が形づくられてきました

##### 菊池川とともに発展した暮らし

- ✓ 菊池川は玉名市を南北に貫き、市全体に恵みを与えてきました。
- ✓ 高瀬裏川では石垣や石橋、船着場が築かれ港の機能を担い、表通りでは商人の町として経済の中心として発展し、玉名温泉街もつられています。高瀬の他にも、海外貿易拠点であった伊倉地区や港町であった大浜地区など、菊池川と共に栄えてきた町もあります。
- ✓ 田園では、菊池川水系の恩恵を受けて、豊かな農業が営まれてきました。また、干拓地では、石づくりの堤防や樋門がつくれ、豊かな農地が築造されたことで、様々な農作物が作られ、本市の産業を支えてきました。
- ✓ このように、菊池川は加藤清正の治水事業により形を変えながらも、市の発展を支え、現在の景観が形づくられてきました。

##### 玉名の風土・信仰が生んだ非日常の風習

- ✓ 本市の自然や風土、人々の営みや信仰等から生まれた、伝統行事・祭事・イベントが継承されています。
- ✓ 伝統行事・祭事・イベントは、春夏秋冬で非日常の景観を見せています。

[景観形成方針図]



## 山の恵みとともに育まれた暮らし

### 山林・集落景観ゾーン

#### ■ゾーンの特性

- ❖ 本市北部には小岱山系、東部には木葉山、東南部では金峰山系、玉名平野には横島山が位置しています。
- ❖ これらの山々は、本市の周りを取り囲み、豊かな濃い緑を見せ、玉名平野の背景となっています。
- ❖ 山々の恩恵により今日の豊かな生活や文化が生まれ、豊かな緑は、憩いや安らぎを与えており、登山やレクリエーションなどで市民から親しまれています。
- ❖ 石貫穴観音横穴を守る石貫安世寺地区など、魅力的な集落景観が所々に見られます。
- ❖ 繁根木川は、玉名地域を縦に分かつ菊池川の支流であり、昔から市民に親しまれてきた川です。



小岱山系



金峰山系



木葉山



石貫安世寺地区



繁根木川

#### ■景観形成方針

##### 玉名を取り囲む緑豊かな山々と文化を魅せる景観づくり

- ❖ 山林・河川をはじめとした、豊かな自然資源や生態系を保全します。
- ❖ 山林・河川景観に配慮しつつ自然資源を活かし、ふれあうことができる環境をつくります。
- ❖ 建築物や工作物、屋外広告物の形状や色彩は、山林・河川景観との調和に配慮します。
- ❖ 集落では、集落それぞれの特徴を活かし、これまでの特有の歴史を継承する景観づくりを行います。また、農業の振興や担い手の確保、農機具、農業資材等の整理整頓、畦道の花植えなど、美しく魅せる工夫を行います。

### みかん畑・集落ゾーン

#### ■ゾーンの特性

- ❖ 天水地域における熊ノ岳、三ノ岳のなだらかな丘陵地帯に、広大な果樹園（みかん畑など）景観が広がっています。
- ❖ 全国でも上位を争うトップクラスの生産量を誇るみかんの大産地となっています。
- ❖ みかん畑には、石垣が築造されている場所もあり、特徴的な景観となっています。
- ❖ みかん農村集落（赤仁田地区：熊本県農村景観コンクール美しき村賞、下有所地区：熊本県農村景観コンクール農村景観大賞）の魅力的な集落景観が所々に見られます。また、天水地域は、「田園空間博物館（農林水産省）」に位置づけられています。
- ❖ 小天は、夏目漱石が愛した地とされ、小説「草枕」にみかん畑が描写されています。
  - 作中、「那古井の宿」として前田家別邸や「老隠居」として前田案山子も登場し、前田家に関わる資源が遺されています。
- ❖ オレンジロード（広域農道）では、道路の両側や遠景にみかん畑が広がる美しい景観となっています。



みかん畑の石垣



みかん畑の展望



赤仁田地区



みかん畑



下有所地区



オレンジロード

#### ■景観形成方針

##### 石垣となだらかな斜面に広がるみかん畑と集落を魅せる景観づくり

- ❖ 果樹栽培の振興や担い手の確保に努め、美しい果樹園景観の維持に努めます。
- ❖ 農機具や農業資材等の整理整頓や石垣の手入れなど、果樹園を美しく魅せる工夫を行います。
- ❖ 建築物や工作物、屋外広告物の形状や色彩は果樹園景観との調和に配慮します。
- ❖ 郊外の集落では、集落それぞれの特徴を活かし、これまでの特有の歴史を継承する景観づくりを行います。

# 菊池川とともに発展した暮らし

## 菊池川流域景観ゾーン

### ■ゾーンの特性(菊池川)

- ❖ 本市を北から南に縦断する菊池川は、迫力のある雄大な河川景観となっています。
- ❖ 菊池川は、流域の大地をうるおし、古墳文化を开花し、生活を支えてきた恵みの川です。玉名市は菊池川から多くの恩恵を受けて発展してきました。
- ❖ 菊池川に沿って、堤防にハゼ並木が整備されている区間があり、秋にはきれいな赤色の葉を見せます。
- ❖ 高瀬裏川には、石垣や船着場など商家町、港町として繁栄してきた歴史的遺産が今も数多く残っています。



菊池川



菊池川堤防のハゼ並木



高瀬裏川

### ■ゾーンの特性(菊池川とともに発展した町並み)

- ❖ 高瀬は、菊池川の恩恵を受け、早くから海外渡航や貿易拠点として重視されていた港で、商人のまちとして栄えてきました。
- ❖ 大浜、伊倉においても、港町の名残をとどめている風情のある歴史的な建築物が立地しているまちなみが見られます（大浜地区：菊池川水運と共に支えた港町、伊倉地区：中世の海外貿易拠点）。
- ❖ 風情ある建築物や看板等が見られますが、景観に影響を与える建築物や屋外広告物の立地も見られます。



高瀬の町並み



高瀬の町並み



雰囲気をつくる仕掛け



大浜地区



伊倉地区

### ■景観形成方針

#### 雄大な菊池川を魅せる美しい景観づくり

- ❖ 菊池川の雄大さや美しさを引き立たせる堤防、河川敷の景観をつくります。
- ❖ 菊池川堤防のハゼ並木や雑草等の手入れを行い、美しい河川景観をつくります。
- ❖ 彩度の高い派手な橋梁を避け、河川景観の調和に配慮します。
- ❖ 高瀬裏川においては、魅力的な歴史的資源が遺されており、市を代表する観光拠点であることから、特に配慮した景観づくりを行います。

### ■景観形成方針

#### 歩きたくなる居心地の良い景観づくり

- ❖ 建築物や工作物のしつらえを工夫し、魅力があり居心地の良い空間となる街並み景観をつくります。
- ❖ 高瀬エリアにおいては、魅力的で風情にある建築物見られ、市を代表する観光拠点でもあることから、特に配慮した景観づくりを行います。
- ❖ 屋外広告物は、街並みの雰囲気や特徴を的確に把握し、景観に配慮して設置するよう努めます。
- ❖ 集落それぞれの特徴を活かし、これまでの特有の歴史を継承する景観づくりを行います。

# 菊池川とともに発展した暮らし

## 市街地景観ゾーン(おおむね用途地域内)

### ■ゾーンの特性

- ❖ 低層の戸建て住宅を中心とし、店舗や工場等が混在した街並みが広く分布しています。
- ❖ 多種多様な屋外広告物が乱立しています。
- ❖ 県北の拠点として、田園景観の中に新玉名駅と新市街地の骨格（道路基盤）が整備されており、色彩に配慮した店舗が立地しています。今後、景観に配慮した新しい市街地形成が期待されています。
- ❖ 寺社・仏閣をはじめ、特徴的な登録文化財が見られます。
  - 繁根木八幡宮、疋野神社、蓮華院誕生寺本院など
  - 県立玉名高校の本館、前庭池、正門（登録文化財）など

### ■景観形成方針(一般市街地)

#### 街並みに付加価値をつける景観づくり

- ❖ 建築物や工作物の形状や色彩は、周辺の街並みとの調和に努めます。
- ❖ 屋外広告物は、景観に配慮し、一定の秩序を持って設置するよう努めます。
- ❖ 市街地では、庭先の手入れや花植え等により、景観の価値を高める工夫に努めます。
- ❖ 玉名温泉街では、温泉街の雰囲気や醸し出す風情のある街並み景観の醸成に努めます。



玉名温泉街



しらさぎの足湯



新玉名駅



駐車場での花植



色彩に配慮した店舗



玉名駅前

## 田園景観ゾーン

### ■ゾーンの特性(田園)

- ❖ 市域面積の5割弱が田園となっています。
- ❖ 玉名平野では、遠方まで見通せる広大な田園景観が広がっています。
- ❖ 本市の東部の伊倉地域では、玉名平野の田園と異なり、斜面林に囲まれた田園景観となっています。
- ❖ 山田日吉神社では、見事な藤が育てられ、多くの人々が魅了されています。また、神社からまっすぐ馬場と呼ばれる参道に沿って住宅が建ち並ぶ景観が見られます。



田園(玉名)



斜面林と田園(伊倉)



山田日吉神社の参道

### ■景観形成方針

#### 手が行き届いた、四季折々の美しい広大な田園と文化あるまちなみを魅せる景観づくり

- ❖ 農業の振興や担い手の確保に努めます。
- ❖ 農機具、農業資材等の整理整頓、畦道の花植えなど、美しく魅せる工夫を行います。
- ❖ 建築物や工作物、屋外広告物の形状や色彩は田園景観との調和に配慮します。
- ❖ 郊外の集落では、集落それぞれの特徴を活かし、これまでの特有の歴史を継承する景観づくりを行います。

### ■ゾーンの特性(ため池)

- ❖ 本市において、特徴のあるため池は、「浮田の池」と「尾田の丸池」です。
- ❖ 浮田の池は、農業の水不足の解消と灌漑区域の拡大に向けて築造され、山林に囲まれた景観となっています。
- ❖ 尾田の丸池は、清流尾田川の水源として熊本名水百選にも選ばれており、わき水は農業用水として利用され、周辺住民に親しまれています。複数ある湧水地をつなぐように九十九曲がりと呼ばれる複雑な流れかたをしている独特な景観となっています。



浮田の池



尾田の丸池



九十九曲がり

### ■景観形成方針

#### 水源や水質、豊かな生態系を保全し、水に親しむ景観づくり

- ❖ ため池の周辺では、雑草の除去や工作物、屋外広告物等の配慮など、居心地を高める工夫をします。
- ❖ 浮田の池では、山林に囲まれた豊かな緑を活かして、水源の確保や水質の向上とともに、水に親しむ景観づくりに努めます。
- ❖ 尾田の丸池では、水源や水質を保全しつつ、九十九曲がりの川の流れや人々が水にふれあい親しむ景観づくりを図ります。

# 菊池川とともに発展した暮らし

## 干拓景観ゾーン

### ■ゾーンの特性

- ❖ 江戸時代から干拓が盛んに行われ、昭和の国営横島干拓まで 75 ヶ所の干拓地が拓かれました。最も古い干拓地は清正の時代から、最も新しい干拓地は昭和 42 年（1967 年）であり、約 330 年かけて築造されました。
- ❖ 市南部の干拓エリアでは、田畑とハウス栽培を中心とした農業が営まれており、広大な田園景観が広がっています。
- ❖ 電照されたビニールハウスは、幻想的な景観となっています。
- ❖ 横島地区では、干拓の歴史を物語る重要文化財「旧玉名干拓施設」が築造されており、干拓地としての独特な景観となっています。
- ❖ 港いこいパークでは、甲辰川の両岸に親水空間が整備されており、レクリエーションや憩いの場として使われています。

### ■景観形成方針

#### 干拓の歴史と田園を魅せる景観づくり

- ❖ 農業の振興や担い手の確保に努めます。
- ❖ 農機具、農業資材等の整理整頓、畦道の花植えなど、美しく魅せる工夫を行います。
- ❖ 建築物や工作物、屋外広告物の形状や色彩は田園景観との調和に配慮します。
- ❖ 干拓施設を適切に手入れし、田園景観と一体で魅せる景観づくりに努めます。



干拓地の田園



田園(ハウス)



干拓施設(堤防)



港いこいパーク



横島山



# 景観をつなぎ魅せる場所

## 幹線道路景観ゾーン

### ■ゾーンの特性

- ❖ 国道 208 号では、店舗が沿道に立地していますが、街並み景観に影響を与える高彩度の色彩を持つ建築物や屋外広告物の乱立が見られます。
- ❖ 国道 208 号バイパスや国道 501 号、県道 1 号、県道 6 号は田園景観の中を横断しており、沿道に店舗や屋外広告物の立地は比較的少ない状況です。なかには、並木が整理されている区間があり、田園景観と調和したきれいな道路景観が整備されています。

### ■景観形成方針

【中心部(用途地域内)】にぎわいと品格ある沿道景観づくり  
 【中心部以外】田園と調和した景観づくり

- ❖ 中心部（国道 208 号、県道 4 号）の幹線道路では、本市の中心部としてのにぎわいをつくりつつ、建築物や工作物、屋外広告物の色彩、形状等の品格の高い沿道景観をつくります。
- ❖ 中心部以外の幹線道路では、山林や田園の景観と調和した並木や花植え、屋外広告物の景観への配慮など、美しい道路景観づくりに努めます。



国道 208 号



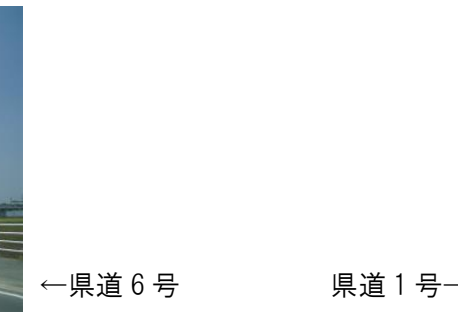
国道 208 号バイパス



国道 501 号



← 県道 6 号



県道 1 号 →



## 眺望点

### ■眺望点の特性

- ❖ 玉名平野や菊池川を見下ろし、雲仙普賢岳まで見渡せる俯瞰景の眺望点が各所にあります。特に、げんやま展望公園からは、眼下に広がる玉名平野やみかん畑、遠景に望む雲仙普賢岳の眺望は、圧巻な景観を見せています。
- ❖ 一方、玉名平野から小岱山や金峰山（熊ノ岳、三ノ岳）、木の葉山の美しい稜線を見渡せる仰瞰景の眺望点が各所に見られます。また、干拓施設を見通せる眺望点も特徴的です。
- ❖ 天水地域では、夏目漱石が描いた「わが墓」のモデルとなった眺望点があります。
- ❖ 熊本県北唯一の鍋松原海岸が整備され、白浜と松原が美しい景観をつくっています。近景は白浜と松原、中景は干潟と海苔の養殖の様子、遠景は雲仙普賢岳が見え、壮大な景観となっています。夏になると、大勢の海水浴客によりにぎわいを見せます。
- ❖ 九州新幹線新玉名駅からは、周辺の田園景観が遠景まで見渡せます。また、短時間ではありますが、新幹線の車窓からも玉名の景観を見ることができます。JR 鹿児島本線からも、市街地や田園風景が車窓から見られます。

### ■景観形成方針

玉名市の良さを実感できる眺望点づくり

- ❖ 本市の良さや魅力を伝える眺望点の掘り起こしと設定を行います。
- ❖ 眺望点では、最も望ましい眺望となるよう、適切に木々の剪定や景観阻害要因をなくすなど、周囲の景観づくりを行います。
- ❖ 有明海の漁場（ノリ養殖等）の産業を守ります。



げんやま展望公園からの眺望



干拓施設の眺望



玉名平野からの山並みの眺望



漱石画「わが墓」のモデルとなった眺望



有明海・白浜・松原の眺望



有明海と漁場の眺望



新玉名駅舎からの眺望



日嶽

# 玉名の風土・信仰が生んだ伝統行事・祭事・イベント

## 伝統行事・祭事・イベント

### ■伝統行事・祭事・イベントの特性

- ❖ 本市では、各地で伝統行事や祭、イベントがあり、市民に親しまれています。
- ❖ 伝統行事・祭事、イベントでは、神社などの固有の場で実施するものや、まちを練り歩いて実施するものがあります。そこでは、色とりどりの衣装を纏った人々、まちを練り歩く行列、はためく矢旗、多くの人でにぎわう様子など、日常の街並みに非日常が重なる独特な景観を見せています。



高瀬裏川花しょうぶまつり



龍火くんだり



玉名大俵まつり



伊倉のねり嫁行列



梅林天満宮大祭の流鎧馬



繁根木八幡宮の節頭馬奉納

### ■景観形成方針

#### 玉名に根付く伝統を魅せ、次世代に残す

- ❖ 継続的に伝統行事・祭事を執り行い、後世に継承するとともに、保存を行います。
- ❖ 継続的に魅力的なイベントを実施します。
- ❖ 市民の皆さんは、積極的に伝統行事・祭事・イベントに関わり、楽しめます。

